

【連合総研シンポジウム】非正規雇用労働の深層～ジェンダー・法制・労働組合～

非正規雇用の底辺
—非正規〈女性稼ぎ主〉世帯の困難—

昭和女子大学名誉教授 森ます美
2024年1月30日

報告の背景

「昭和の家族」の変容 ⇒ 単独世帯が4割に迫る。

正社員男性稼ぎ主世帯 ⇒ 共働き世帯が主流・非正規〈女性稼ぎ主〉世帯の増加

非正規パート労働者 = 「主婦パート」と一括りにできるか。

〈性別役割分業家族〉をモデルとした税制・社会保障制度・企業の制度・慣行の改革へ

報告の目的

連合総研「2022年非正規雇用調査」からみえた〈働き方と生活困難による階層〉

⇒非正規雇用の底辺に沈む非正規〈女性稼ぎ主〉世帯の実像に迫る。

報告のキーワード

■ 非正規〈女性稼ぎ主〉世帯

非正規雇用女性の賃金収入が世帯収入の「すべて＋大部分＋半分以上」を占めて世帯の生計を担っている世帯
— 連合総研「2022年非正規雇用調査」—

■ 非正規女性〈完全〉稼ぎ主世帯

非正規雇用女性の賃金収入が「世帯収入のすべて」を占めて名実ともに女性稼ぎ主である世帯
— 連合総研「2022年非正規雇用調査」—

■ 女性世帯主世帯

女性が世帯主（住居と生計を共にしている者の集まり＝世帯を代表する者）である世帯
— 総務省統計局「2022年就業構造基本統計調査」—

■ 非正規中高年シングル女性

非正規雇用で就業する40歳以上の配偶者のいない女性
— 連合総研「2022年非正規雇用調査」—

1. 全国の女性世帯主世帯

図表1 男性・女性世帯主世帯数と世帯所得

(全国 有業者：仕事が主な者)

(人、%)

世帯所得	男性世帯主		女性世帯主		一般世帯		単身世帯 (未婚、死別・離別)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
総数	28,282,700	100.0	6,656,600	100.0	2,343,400	100.0	4,025,100	100.0
300万円未満	3,526,700	12.5	2,790,600	41.9	688,600	29.4	1,954,900	48.6
300～499万円	6,375,000	22.5	2,060,300	31.0	621,000	26.5	1,371,400	34.1
500万円以上	17,892,500	63.3	1,670,100	25.1	948,300	40.5	660,300	16.4

注1) 世帯所得とは、世帯主、世帯主の配偶者及びその他の親族世帯員が通常得ている過去1年間の収入(税込み額)の合計をいう。

2) 世帯所得階層の合計が総数および100%に一致しないのは元統計値による。

出所) 総務省統計局「2022年就業構造基本調査」第4-1表より筆者作成

■ 女性世帯主世帯 665万世帯、全世帯の約2割を占める。

女性世帯主世帯の6割、402万世帯が「未婚、死別・離別」による一人暮らしのシングル女性

単身シングル女性の53.1% が 40歳以上の中高年シングル就業女性

2. 全国の非正規雇用の女性世帯主は308万人

図表2 非正規雇用の女性・男性世帯主の雇用形態 (人、%)

	総数	パート	アルバイト	派遣社員	契約社員	嘱託	その他
女性世帯主総数	3,079,300 (100.0)	52.8	15.2	10.8	13.3	4.1	3.9
一般世帯	1,241,200 (100.0)	64.6	8.8	8.6	11.4	4.0	2.7
単身世帯	1,838,100 (100.0)	44.8	19.4	12.4	14.6	4.1	4.7
男性世帯主総数	4,636,100 (100.0)	20.8	23.3	8.7	26.6	13.9	6.6

出所) 総務省統計局「2022年就業構造基本調査」より筆者作成

■ 女性世帯主の非正規雇用比率**46.3%**
女性世帯主の**4割余り**は年収が**300万円未満** (図表1)
「未婚、死別・離別」の**単身女性**は半数が**300万円未満**

■ 男性世帯主の非正規雇用比率**16.4%**
男性世帯主世帯では**6割強**が**500万円以上**

全国の非正規・中高年シングル女性は270万人

40歳以上の非正規雇用で就業する「未婚、死別・離別」による単身者

■ 「L字カーブ」の指摘：女性の正規雇用比率が25～29歳をピークに低下
＜非正規雇用比率＞

40～50歳代 55.0%、60歳代前半 75.2%、65歳以上 82.7%

40以上の非正規・中高年女性雇用者1043万人、うち4分の1がシングル女性

—総務省統計局「2022年就業構造基本調査」—

3. 非正規雇用の〈底辺〉に位置する非正規〈女性稼ぎ主〉世帯

－ 連合総研「2022年非正規雇用調査」から－

図表3 非正規雇用のなかの非正規〈女性稼ぎ主〉世帯

－「世帯年収(税込み)300万円未満」比率の低い順に掲載－

順位	非正規雇用労働者の階層 (人数)	平均年齢	有配偶者	パート・アルバイト比率	主たる生計維持者	上段:厚生年金加入者 下段:夫の年金の被扶養者	平均時給額	賃金年収(税込み)300万円未満	世帯年収(税込み)300万円未満	蓄えない(貯金等)	過去1年間の家計収支赤字世帯
1	主婦パート ¹⁾ (1025)	48.3歳	100.0%	100.0%	8.8%	23.9% 52.6%	1080円	97.6%	21.3%	24.6%	35.6% (NA25.0%)
2	女性非労働組合員 (1454)	45.3歳	67.4%	81.7%	19.9%	32.2% 34.0%	1105円	95.4%	35.3%	27.2%	32.9% (NA 30.9%)
3	女性総数 (1819)	45.3歳	64.4%	80.9%	22.3%	37.1% 31.0%	1110円	94.5%	37.2%	27.7%	33.8% (NA 30.2%)
4	女性労働組合員(365)	45.3歳	52.1%	77.8%	31.5%	56.7% 18.9%	1132円	91.1%	44.3%	29.8%	37.0% (NA 27.1%)
5	<男性稼ぎ主> (336)	49.4歳	47.6%	41.1%	100.0%	64.9% (妻の)0.6%	1353円	61.4%	47.1%	24.0%	43.5% (NA 15.2%)
6	男性総数 (656)	44.2歳	35.9%	53.0%	51.2%	51.8% (妻の)1.7%	1239円	73.9%	51.4%	25.5%	31.6% (NA 35.2%)
7	<女性稼ぎ主> (406)	46.3歳	29.3%	66.3%	100.0%	60.6% 4.7%	1123円	86.3%	68.3%	38.9%	47.5% (NA 16.7%)
8	中高年シングル女性 (139)	53.0歳	0.0%	63.3%	83.4% (NA12.9%)	59.0% -	1149円	90.4%	89.1%	44.6%	36.7% (NA 28.8%)
9	女性<完全>稼ぎ主 (244)	45.7歳	12.3%	68.9%	100.0%	56.1% 2.0%	1117円	90.6%	90.6%	38.1%	45.5% (NA 20.9%)

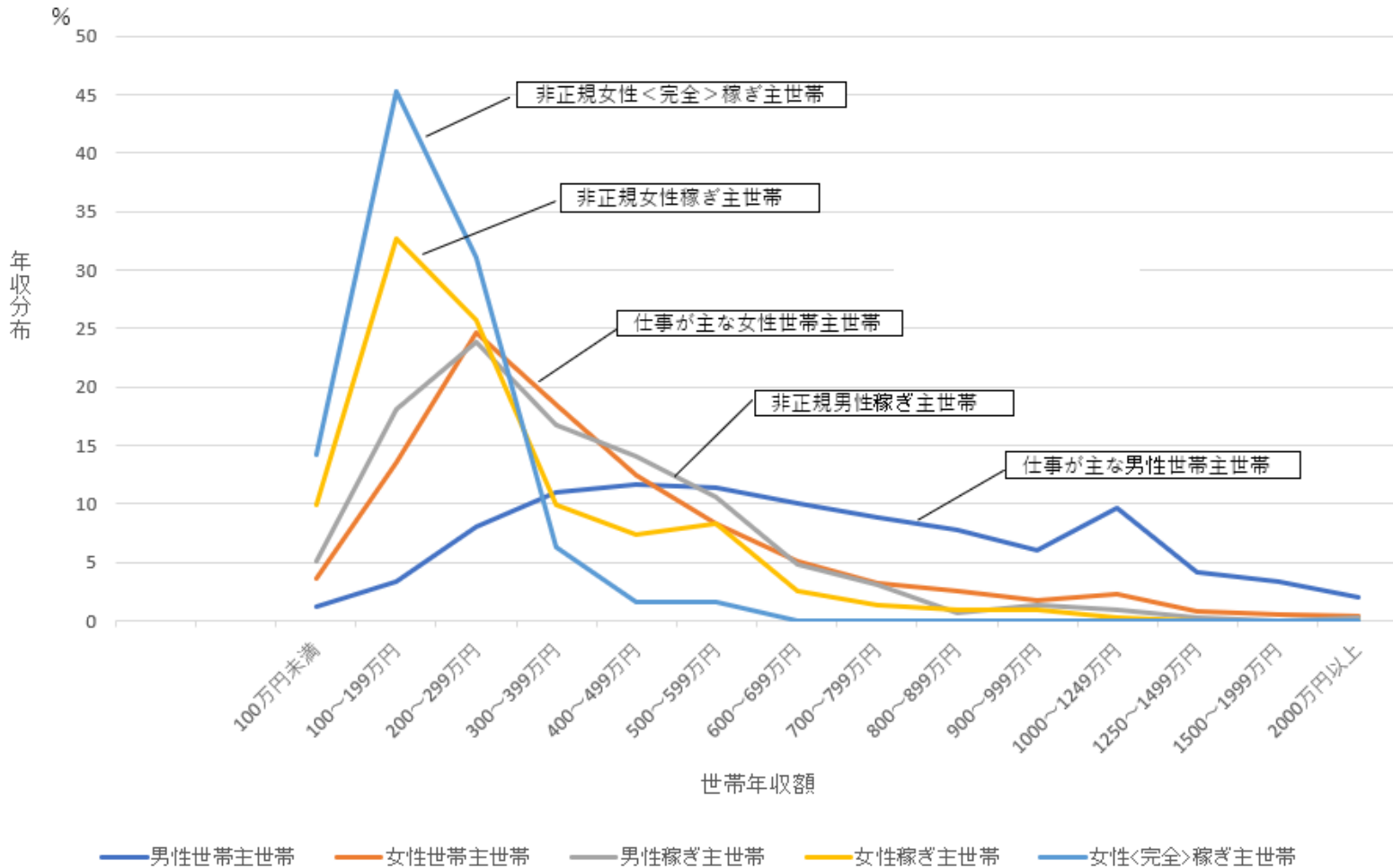
注1)「主婦パート」とは「女性、配偶者あり、雇用形態がパートタイマー・アルバイトである者」を指している。定義および本表掲載の「主婦パート」に関するデータは、

森他編著『非正規という働き方と暮らしの実像』(2024年 旬報社)の「第5章 非正規雇用のなかの“主婦パート”」を執筆された後藤嘉代氏より提供された。

出所) 本表に掲載のデータはすべて連合総研「2022年非正規雇用調査」に依る。

世帯年収／世帯所得の分布

図表4 世帯年収／世帯所得の分布



<図表3 & 図表4 コメント>

■ 非正規雇用女性の階層

－働き方と生活困難－

➤ 主婦パート層

主たる生計維持者は9%
半数以上が夫の被扶養の範囲内で就業
世帯年収300万円未満層は2割。蓄えがない25%、赤字家計は3分の1強。

➤ 女性稼ぎ主層

有配偶者は3割弱。パート比率66%
全員が主たる生計維持者
厚生年金加入者は6割。世帯年収300万円未満は約7割にのぼり、4割に蓄えはなく、赤字家計が半数を占める。

➤ 女性<完全>稼ぎ主と中高年シングル女性

世帯年収300万円未満が9割に達し、蓄えもなく、赤字家計を営む。

➤ 図表4：男性世帯主世帯（高所得帯に多数分布）と、女性稼ぎ主／世帯主世帯（200万・300万未満にピーク）の非対称

4. 非正規<女性稼ぎ主> & 非正規中高年シングル女性の仕事と暮らし

— 連合総研「2022年非正規雇用調査」から —

➤ 非正規女性<稼ぎ主>

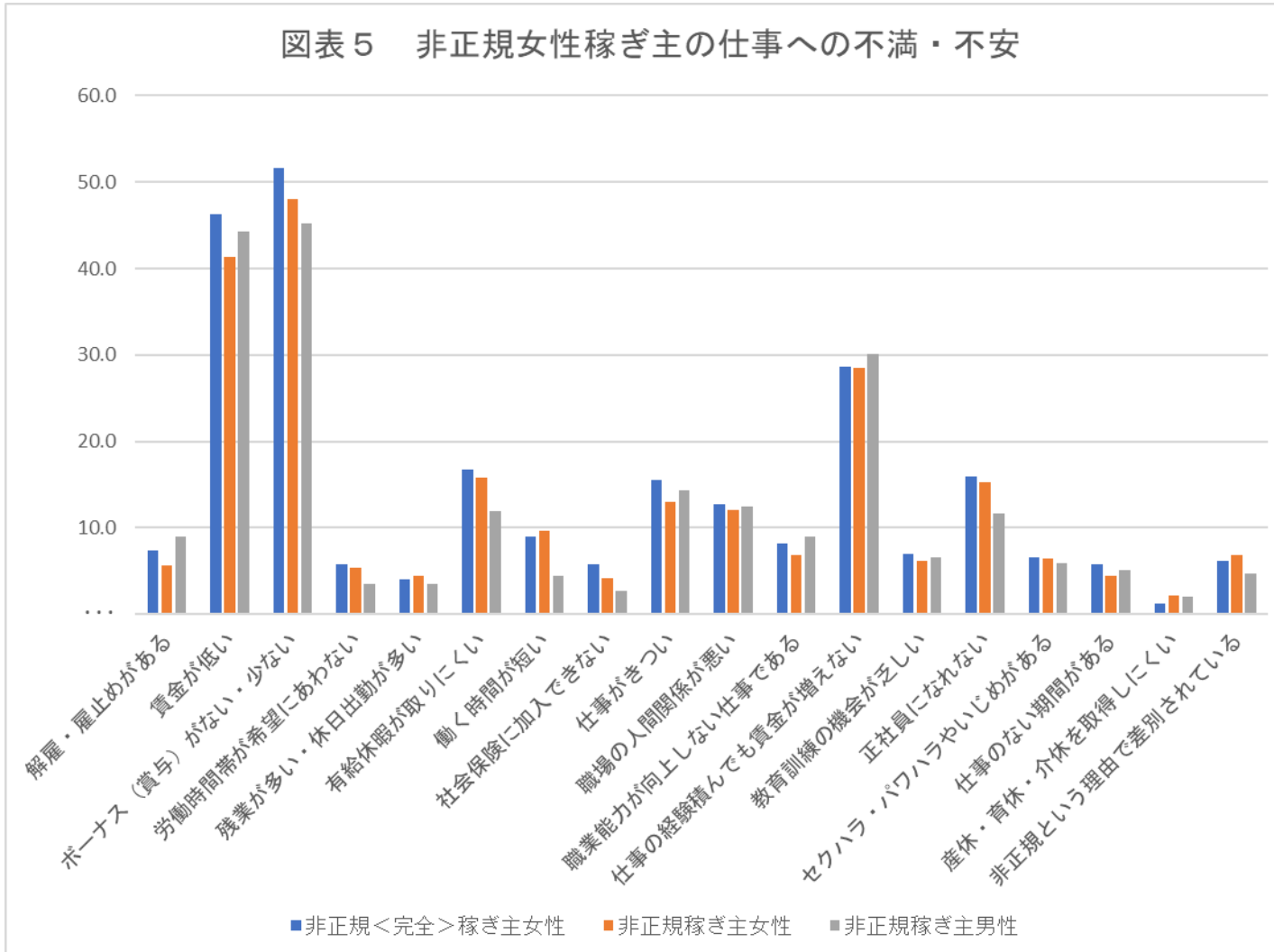
- ・半数近くが中・大企業労働者（1000人以上 26.1%、100～999人 22.2%）
- ・卸売・小売業 21.4%、サービス業 14.5%、医療・福祉 13.8%、製造業 10.6% で6割
- ・平均勤続年数は7.6年。 週の実労働時間「40時間以上」が26.4%
- ・非正規<女性稼ぎ主>の67%は「正社員と同じ内容」の仕事をしている。
⇒うち4割強が正社員と比較して「賃金水準は低くかなりの格差がある」と回答
- ・将来見通し：仕事全般「希望が持てる」2割 <「持てない」4割、生活全般「希望が持てる」25% <「持てない」33%

➤ 非正規中高年シングル女性 — 40～64歳の単身世帯の女性 —

- ・3分の1が契約社員・準社員、派遣社員
- ・平均勤続年数8.2年。 76.5%が定年年齢以前から非正規で就業（正社員の定年経験はない）
- ・際立って低賃金・低所得層 — 9割が年収300万円未満、全国の単身女性世帯主（49%）の2倍近い
- ・年収は全国男女勤労者単身世帯の最低第I五分位（年収282万円未満、中位数201万円）に相当
（総務省統計局「2022年家計調査」、年間収入五分位階級）
- ・将来見通し：仕事全般「希望が持てる」12% <「持てない」39%、生活全般「希望が持てる」18% <「持てない」35%
- ★ 中高年シングル女性の生活困難・・・深刻な住居の問題。4割強が民間賃貸住宅に居住。
その4割近くが「月額7万円以上の住居費」を支払い、生活を圧迫
（★わくわくシニアシングルス「第2回中高年シングル女性の生活状況実態調査」2022年）

5. 非正規<女性稼ぎ主>の仕事への不満・不安

図表5 非正規女性稼ぎ主の仕事への不満・不安



■ 現在の仕事全般への満足度
「満足」36%、「不満」27%

■ 仕事への不満は断トツ、賃金！



トップ3

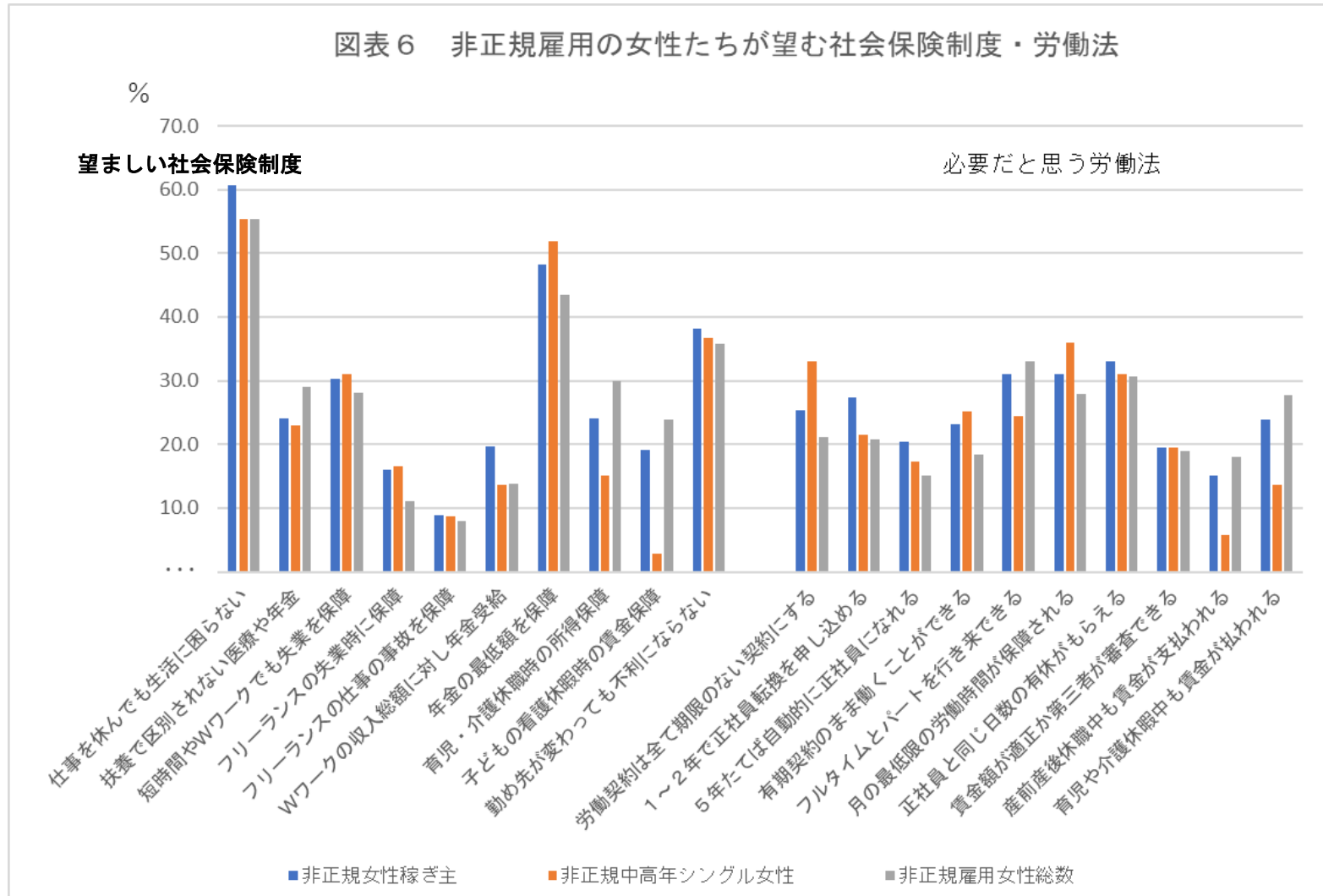
1. ボーナスがない・少ない 48%
2. 賃金が低い 41%
3. 仕事の経験を積んでも賃金が増えない 29%

■ 続いて

4. 有給休暇が取りにくい 16%
5. 正社員になれない 15%

<参考> 非正規雇用の女性たちが望む社会保険制度・労働法

図表6 非正規雇用の女性たちが望む社会保険制度・労働法



注) 社会保険制度は5つまで選択、労働法は7つまで選択、労働法については選択率の上位10までを掲載した。
出所) 連合総研「2022年非正規雇用調査」から筆者作成